



# 東日本大震災・支援対策本部ニュース



## —届けようワイズの心—

東日本区・東日本大震災ウェブサイト: <http://www.ys-east.or.jp/shinsai/index.html>

9月4日に視察した岩手県の沿岸地域は被災時の瓦礫の片付けは進んでいるものの、そこに人々が暮らしていたことが信じられない荒野と化していました。「支援」から「復興」へと言われていますがまだまだ遠い道のりです。9月24日に開催された湘南・沖縄部会では、東日本大震災支援ネットワーク世話人共同代表で前神奈川県立保健福祉大学学長の山崎美貴子さんが記念講演を行われ、これから私たちに何ができるか、どう支援を行なっていくべきかについてお話いただきました。「被害を受けた方としっかりコミュニケーションをとる」、「相手に寄り添う」、「支援は知恵の出し比べ」、「善意ではなく、一人の人として精一杯の誠意を」等、大変参考となるお話でした。

### 1. 山元町へお米を贈呈

8月27日(土)、東日本区から宮城県・山元町へのお米7.7トンの贈呈式が現地にて執り行われました。仙台YMCAのサッカー教室の中学生、父兄も多く参加し、みやぎ生協のボランティアとともに



に支援企業(三菱商事)からの3.3トンと合わせて11トンを大型トラックから荷降ろしし、シールを貼り付けの上で山元町・社会福祉協議会の倉庫に運び入れました。仮設住

宅にお住まいの方々1,100戸に10キロずつ配布されます。

### 2. 被災地視察

9月4日(日)、北東部部会に出席した東日本区有志(河合理事ほか16名)がチャーターバスにて岩手県の被災地を視察しました。

朝6時に盛岡を出発。約2時間かけて盛岡YMCAの被災者支援拠点である宮古ボランティアセンター(宮古教会に設置)に到着。活動情况等の説明を受け、また、持参した東日本区からの活動支援金(100万円)を盛岡YMCA濱塚総主事に贈呈いたしました。宮古ボランティアセンターが主催する宮古市郊外の鉄ヶ崎小学校での地域の子供たちのための運動会も視察いたしました。

その後、山田町、大槌町、釜石、大船渡、陸前高田と海岸沿いの被災地を辿って南下し、15時に東北新幹線一関駅で解散となりました。

### 3. 被災地復興支援「帽子」の販売

東日本区・東日本大震災支援対策本部では西日本区と協働して、ワイズマークと「がんばろう日本!」の文字が入った帽子を販売することといたしました。街頭募金や被災地でのボランティア活動の折、また日頃の活動時等にもご利用下さい。



価格は1個1,000円で、仕入れ値を差し引いた475円が東日本区・東日本大震災支援募金への寄付となります。申込書は東日本区・東日本大震災ウェブサイトからダウンロードできます。

### 4. 街頭募金のお奨め

各クラブでの街頭募金の実施をどうぞよろしくお願いいたします。また、クラブ例会の2次会等で行きつけの飲み屋さん等に募金箱を設置いただくのも募金集めの有力な手段です。東京銀座クラブではこの方法で既に約20万円集められました。各部会で募金箱を配布していますが、追加をご入用のクラブは東日本区事務所までご請求下さい。

### 5. 各地のワイズメンの取組み

#### <熱海クラブ>

9月10日(土)~11日(日)、宮城県南三陸町にてボランティア活動を行われました。1日目は、神割崎キャンプ場、2日目は、三滝堂ふれあい公園で子供たちとのデイキャンプを行い、1日目のお昼には仮設住宅のお年寄りを招待し、芋煮風うどんと熱海から持参の干物焼きを提供され大好評でした。昼食後は、海岸の清掃作業を全員で行い、良い汗を流しました。2日目は、子どもたちとのキャンプで10数名の参加があり、昼食には焼きそばを楽しんでもらいました。



#### <東京武蔵野多摩クラブ>

メンバーの石丸由理さんが音楽仲間呼びかけで集めた楽器多数を、仙台YMCAのアレンジにより南三陸町の名足(なたり)小学校に9月27日(火)寄贈されました。体育館で贈呈式が行われた後、石丸さんによる音楽リトミックが1時間ほど催され、生徒たちが大喜んでもらえました。東京武蔵野多摩5名の他に東京八王子、仙台青葉城のメン・メネットも参加されました。詳しくは東日本区・東日本大震災ウェブサイトの「最新ニュース」をご覧ください。



東日本区・東日本大震災支援募金累計額  
17,013,196円(9月28日現在)